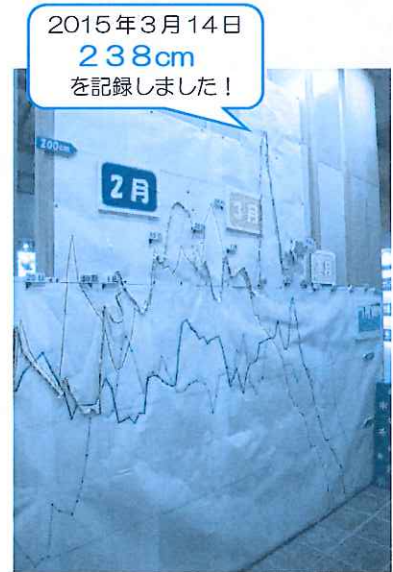


■ 今年の冬の積雪は… ■

暦の上では、立冬(11月7日)から立春(2月4日)までが冬となっていますが、みなさんは、いつからいつまでが冬だと感じますか?住んでいる場所によって冬の期間の感覚はそれぞれですが、裏磐梯の冬の期間は、私の感覚では、ちらちらと雪が舞い始める11月初旬から4月中旬頃までです。そんな裏磐梯のこの冬の雪の様子をビジターセンターの前で計測している積雪量を見ながら振り返ってみたいと思います。

冬の始まりを知らせる初雪は10月27日、うっすらと白くなる程度ですぐに消えてしまいました。ビジターセンターで秋の講演会が行われた11月13日から降り出した雪は15日には25cmになり、その後、道路やビジターセンター前の雪は消えましたが、土の上の雪は消えず根雪になりました。12月に入ると積雪も徐々に増え年末には88cm、1月17日は140cmと大雪となりました。12月と1月は例年並みの積雪のようでしたが、2月になると裏磐梯らしい?大雪の日が何度かあり、19日には193cmと昨年の最高積雪を超えました。その後、晴天や雨の日が続き、下旬には160cmまで減りましたが、3月10日からの大雪で14日には238cmとビジターセンター開館以来、最高積雪を記録しました。

これから裏磐梯も少しずつ暖かくなり、積雪も徐々に減ってきますが、4月中は、まだ雪の降る日もあり、油断できません。まれにゴールデンウィークにも雪がちらつくこともあります。昨シーズンはビジターセンターの前の雪が消えたのは4月17日でしたが、今シーズン、雪が消えて地面が見えるのは、いつになるのでしょうか。



■ こんなの見なかった? ■ 裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう?

冬から春になるころに雪の森を歩くと、「あれ?先週はこんなの見なかった!!」という物をたくさん見ることができます。雪の上を歩く黒い虫を見かけるようになると、もうすぐ春がやってくる目安の一つです。

さて、ぼおお。と森の木々を見ていると、木の根元がスカスカになっている光景が見られるのも、ちょうど同じ時季からです。はてさて、あれはなんでしょう??

- ① 地元の方が、春の山菜を掘り起こしたあと
- ② クマやイノシシが、木の根元をフガフガしたあと
- ③ 太陽や木々の熱で空いた隙間
- ④ 木の妖精が春に向かって出しているパワーのあと
- ⑤ 木を伝って流れる樹液や水が流れできた隙間



正解は③です。気温が上がったり、雪の降りが収まったりという要因もそうですが、白より黒に近い木々は、太陽の熱を雪よりも吸収し、その熱で雪が融けます。とても大きな違いはないかもしれませんが、よく見てみると白い木々よりも黒っぽい木々の方が融けるのが早い気がします。そうしてどんどん春になっていくんですね!!

先日、金山浜のあたりで、ミズバショウの若芽を見ました!!
裏磐梯にも、着々と春が近づいていますよ!!!